平成25年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年７月31日

上場会社名　　日本和装ホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　2499　　ＵＲＬ　http://www.wasou.com/profile/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）吉田重久
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役管理本部長　　（氏名）菅野泰弘　　ＴＥＬ　03-3216-0070

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月12日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有　　（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年12月期第２四半期の連結業績（平成25年１月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第２四半期	2,897	△1.0	239	218.9	212	356.5	122	625.2
24年12月期第２四半期	2,927	△11.8	75	△72.8	46	△82.3	16	△86.7

（注）包括利益　　25年12月期第２四半期　　119百万円（613.0%）　　24年12月期第２四半期　　16百万円（△86.9%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第２四半期	13.63	－
24年12月期第２四半期	1.88	－

（注）平成25年12月期第２四半期及び平成24年12月期第２四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
（注）当社は平成25年７月１日付で普通株式１株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第２四半期	6,919	2,770	40.0
24年12月期	5,442	2,651	48.7

（参考）自己資本　　25年12月期第２四半期　　2,767百万円　　24年12月期　　2,648百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	－	500.00	－	0.00	500.00
25年12月期	－	0.00			
25年12月期（予想）			－	－	－

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無
（注）当社は定款において第２四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

３．平成25年12月期の連結業績予想（平成25年１月１日～平成25年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	9.7	340	－	300	－	155	－	17.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無
（注）平成25年12月期の営業利益、経常利益及び当期純利益の対前期増減率については、平成24年12月期の営業利益、経常利益及び当期純利益がいずれも損失であったため記載しておりません。
（注）当社は平成25年７月１日付で普通株式１株につき100株の株式分割を行っております。そのため、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり当期純利益を算定しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期２Ｑ	9,002,000株	24年12月期	9,002,000株
②　期末自己株式数	25年12月期２Ｑ	－株	24年12月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期２Ｑ	9,002,000株	24年12月期２Ｑ	9,002,000株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（１）上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（２）当社は、平成25年７月１日付で普通株式１株を100株に分割し、１単元の株式の数を100株とする株式分割を行っております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 4
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 4
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（６）セグメント情報等 …… 7
３．補足情報 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における当社グループは、前事業年度に続き「顧客参加型企業」の方針に基づき、既存のお客様1,000名が出演する広告で春期「無料きもの着付教室」の新規受講者を募集しました。さらに、教室のカリキュラムを一新して募集したところ、新規受講者数は一昨年並みに回復し、この受講者を対象に４月から６月に開催した販売機会での売上高は順調に推移しました。

また、既存のお客様向けの販売機会であるイベントは、前年よりも開催数を縮小させたものの、１会場当たりの商品取扱高が過去最高額を記録する等、効率的な開催ができました。

これらの結果、売上高は2,897百万円（前年同四半期比1.0％減）と昨年同等でありながら、利益面では売上原価（着物や帯の縫製に係る費用）や販売費及び一般管理費の抜本的な見直しが功を奏し、営業利益は239百万円（前年同四半期比218.9％増）となりました。

営業外損益では、子会社日本和装クレジット株式会社の運転資金の借入金利息等を18百万円計上、資金調達手数料として支払手数料11百万円を計上したこと等により、経常利益は212百万円（前年同四半期比356.5％増）となりました。

法人税等は、法人税、住民税及び事業税を計上するとともに、法人税等調整額を計上した結果、89百万円（前年同四半期比202.9％増）を計上いたしました。

これらの結果、四半期純利益は122百万円（前年同四半期比625.2％増）となりました。

当社グループは、前事業年度の業績赤字からのＶ字回復を目指して取組んでおります。当事業年度を「第二の創業期」と捉え、徹底的なコスト感覚を全社的に意識づけております。当社ビジネスモデルの「教えて・伝えて・流通を促す」に基づく着付教室に付随した販売機会での売上増加や、コストバランスを意識したイベントの開催等が、当第２四半期連結累計期間において利益の向上としてあらわれたと考えております。

また、「無料きもの着付教室」の新規受講者数の回復については、既存のお客様が当社を宣伝する広告手法も２年目となり、認知を得てきたことによると考えております。加えて、既存のお客様を中心としたプロモーション企画を次々と打ち出しており、例えば、当第２四半期連結累計期間において実施した、「ブリリアンツ全国大会」（８月に開催するコンテスト）の事前投票では、４ヵ月間で約1,200万票のインターネット投票を集める等、「顧客参加型企業」が形になりつつあると考えております。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1,477百万円増加して6,919百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加388百万円、割賦売掛金の増加1,156百万円、総額では1,559百万円増加し、5,741百万円となりました。

有形・無形固定資産及び投資その他の資産には、特記すべき変動はありません。

一方、流動負債につきましては、短期借入金が198百万円増加したこと等に伴い、520百万円増加し、2,822百万円となりました。

固定負債は、子会社日本和装クレジット株式会社の運転資金として長期借入金が892百万円増加したこと等により、1,327百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金が121百万円増加いたしました。この結果、前連結会計年度末と比較して118百万円増加し、2,770百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年６月20日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,396,073	1,784,331
営業未収入金	508,615	572,273
割賦売掛金	1,632,204	2,788,313
たな卸資産	115,369	133,010
その他	565,761	507,216
貸倒引当金	△36,515	△43,770
流動資産合計	4,181,508	5,741,376
固定資産		
有形固定資産	651,278	631,972
無形固定資産	29,791	26,585
投資その他の資産	579,427	519,778
固定資産合計	1,260,497	1,178,336
資産合計	5,442,006	6,919,712
負債の部		
流動負債		
営業未払金	28,972	46,921
短期借入金	1,556,332	1,754,848
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払法人税等	－	66,798
前受金	287,317	433,199
営業預り金	11,894	49,122
その他	316,982	371,157
流動負債合計	2,301,498	2,822,048
固定負債		
社債	350,000	300,000
長期借入金	119,212	1,011,760
その他	19,654	15,377
固定負債合計	488,866	1,327,137
負債合計	2,790,365	4,149,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,634	459,634
資本剰余金	336,409	336,409
利益剰余金	1,857,478	1,979,186
株主資本合計	2,653,521	2,775,230
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,652	△8,057
その他の包括利益累計額合計	△4,652	△8,057
新株予約権	2,771	3,353
純資産合計	2,651,640	2,770,526
負債純資産合計	5,442,006	6,919,712

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	2,927,237	2,897,654
売上原価	445,819	361,694
売上総利益	2,481,418	2,535,960
販売費及び一般管理費	2,406,193	2,296,064
営業利益	75,224	239,895
営業外収益		
受取利息	483	206
為替差益	－	1,977
その他	1,888	4,389
営業外収益合計	2,371	6,574
営業外費用		
支払利息	13,327	18,774
支払手数料	3,093	11,753
社債発行費	10,039	－
その他	4,620	3,608
営業外費用合計	31,081	34,136
経常利益	46,515	212,333
税金等調整前四半期純利益	46,515	212,333
法人税、住民税及び事業税	24,454	27,905
法人税等調整額	5,146	61,762
法人税等合計	29,600	89,667
少数株主損益調整前四半期純利益	16,914	122,665
四半期純利益	16,914	122,665

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	16,914	122,665
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△188	△3,404
その他の包括利益合計	△188	△3,404
四半期包括利益	16,726	119,261
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,726	119,261

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	46,515	212,333
減価償却費	46,778	42,083
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5,387	7,254
受取利息	△483	△206
支払利息	13,327	18,774
社債発行費	10,039	－
為替差損益（△は益）	－	△1,977
営業未収入金の増減額（△は増加）	△81,492	△63,657
割賦売掛金の増減額（△は増加）	204,158	△1,156,109
たな卸資産の増減額（△は増加）	2,626	△17,641
営業未払金の増減額（△は減少）	△10,004	17,949
前受金の増減額（△は減少）	58,001	145,882
営業預り金の増減額（△は減少）	△9,309	37,228
割賦利益繰延の増減額（△は減少）	3,335	89,476
その他	16,696	7,113
小計	294,801	△661,496
利息の受取額	483	204
利息の支払額	△10,973	△13,333
法人税等の支払額	△46,644	46,744
営業活動によるキャッシュ・フロー	237,666	△627,881
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	99,997	－
有形固定資産の取得による支出	△51,073	△17,341
投資有価証券の取得による支出	△31,221	△9,741
敷金保証金の増加額	△759	△1,118
敷金保証金の減少額	42,840	25,647
その他	△6,992	△19,845
投資活動によるキャッシュ・フロー	52,790	△22,398
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△345,000	△641,500
長期借入れによる収入	－	1,830,000
長期借入金の返済による支出	△27,400	△97,436
社債の発行による収入	489,960	－
社債の償還による支出	－	△50,000
配当金の支払額	△90,020	－
その他	△1,101	△1,101
財務活動によるキャッシュ・フロー	26,438	1,039,962
現金及び現金同等物に係る換算差額	△188	△1,426
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	316,707	388,255
現金及び現金同等物の期首残高	875,794	1,267,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,192,501	1,656,029

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。

３．補足情報

季節的変動について

当社グループの主な収益源は、「無料きもの着付教室」の受講者及び修了生を対象とした販売機会において、各契約企業が商品を販売することに対しての仲介手数料です。

「無料きもの着付教室」は年２回（春期・秋期）開講しており、春期は第１四半期中に受講者を募集して開講し、受講中となる第２四半期を中心に販売機会を開催して終結します。同じく秋期では、第３四半期中に受講者を募集・開講し、第４四半期を中心に販売機会を開催して終結します。そのため、広告宣伝費を主とする受講者募集に係る経費が第１四半期及び第３四半期に集中して発生し、販売機会による仲介手数料の計上が第２四半期と第４四半期に集中します。

その他、教室の修了生である会員を対象とした販売機会を不定期に開催しておりますが、「無料きもの着付教室」に係る経費及び売上高の計上時期の偏重が大きいことから、各四半期業績に季節的変動があります。